

令和 5 年度		1 学年	普通 科		
教科名	芸術	科目名	音楽 I		
		担当者	松井 深之		
1. 学習目標					
歌唱、器楽、鑑賞等の幅広い活動を通して、我が国及び諸外国の様々な音楽に触れ、感性を働かせ、音や音楽を形作っている要素を捉え、自己のイメージや感情、音楽の文化的・歴史的背景とを関連付けることで、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。このことで音楽文化を継承・発展、創造することにつなげ、音楽を愛好し豊かな人間性や社会性を養う。					
2. 使用教材等					
・教科書名 ON! 1 (音楽之友社)					
・副教材名					
3. 学習項目 (学習内容)					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	①今月の歌 ②歌唱：ドイツ・リート ③楽典	①校歌、翼をください ②春への憧れ (1部原語) ③音符とリズム	10	歌唱実技 テスト
	5	①今月の歌 ②歌唱：ドイツ・リートと カンツォーネ ③楽典	①おおシャンゼリゼ ②野ばら (1部原語) オー・ソレ・ミオ (原語) ③音名		
	6	①今月の歌 ②歌唱：カンツォーネと イタリア古典歌曲の歌唱 ③楽典	①空もとべるはず ②オー・ソレ・ミオ (原語) Caro mio ben (原語) ③強弱記号	10	
	7	①今月の歌 ②鑑賞：ミュージカル ③楽典	①A Whole New World ②「サウンド・オブ・ミュージック」 ③表情記号		
2	8	①今月の歌 ②鑑賞：ミュージカル	①エーデルワイス ②「サウンド・オブ・ミュージック」	14	期末考査で 筆記テスト
	9	①今月の歌 ②歌唱：ミュージカル・ナンバー ③楽典	①少年時代 ②「サウンド・オブ・ミュージック」 ③音楽用語		
	10	①今月の歌 ②歌唱：合唱 ③鑑賞：音楽史	①赤とんぼ ②合唱曲「聞こえる」or「心の瞳」 ③西洋音楽史概説	14	
	11	①今月の歌 ②歌唱：合唱 ③鑑賞：音楽史	①美女と野獣 ②合唱曲「聞こえる」or「心の瞳」 ③西洋音楽史「中世から古典派」		
	12	①今月の歌 ②器楽：アンサンブル	①クリスマス・ソング ②リコーダーorキーボードアンサンブル	12	
3	1	①今月の歌 ②器楽：アンサンブル	①ダニー・ボーイ ②リコーダーorキーボードアンサンブル		10
	2	①今月の歌 ②器楽：アンサンブル	①校歌 (復習・式典用) ②リコーダーorキーボードアンサンブル		
	3				
4. 評価の観点					
①知識・技能		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。			
②思考・判断・表現		自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。			
③主体的に学習に取り組む 態度		主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。			
5. 評価の方法					
・定期考査： 楽典 (音楽理論)、授業で取り上げた楽曲の歌詞や用語等、西洋音楽史、ミュージカルなどの知識を理解しているか。					
・授業態度： 実技に積極的に取り組んでいるか。鑑賞等で理解し感じ取ろうとしているか。					
・実技テスト： 楽曲に必要な技術・技能を習得し、表現しているか。協働的に取り組みアンサンブルしているか。					
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
○「歌唱」に関しては、表現に関わる知識や技能を身につけ、個性豊かに創意工夫していこう。上手下手でなく積極的なチャレンジをしよう。					
○「合唱」や「合奏」は、アンサンブル＝他者との調和が大切です。音色や演奏法に関わりを楽しみ音によるコミュニケーションを楽しもう。					
○「鑑賞」に関しては、音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりを感じながら、それぞれの音楽の良さや素晴らしさを味わおう。					